

平成 28 年 9 月 8 日

保護者様

京都市立高雄小学校

校長 坪内 昌子

漢検（「日本漢字能力検定」）校内実施のお知らせ

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

さて、今年度より、漢検（「日本漢字能力検定」）を土曜学習の一環として実施することにいたしましたので、ご案内させていただきます。

漢検は、平素の漢字の学習で身に付けた力をさらに伸ばすことができるものであると考えます。漢字の学習は、こつこつと継続的に行うことが大切ですが、この機会を通して、自分の力を試すことができます。また、合格することで、さらに自信を深め、学ぶ意欲を高めることができます。高雄中学校では以前より実施しており、相当な成果を上げていると聞いています。本校でも、子ども達の学力向上の機会になると考え、実施することにいたしました。

検定は、通常は公開試験場でおこなわれますが、小学校を準会場として受験することができます。このプリントの裏面に要項を載せておりますので、お読みいただき、ご希望の方は、別添の「小学生用受験案内」の準会場用申込用紙(AB両方)に必要事項を記入の上、担任までお申し出ください。後日、申し込まれた方に「検定料徴収袋」をお渡ししますので、必要な検定料を入れて担任までお届けください。

なお、ご希望があれば、保護者の方も受検していただけますので、学級担任までご相談ください。また、今年度は、京都市からの検定料の一部補助があります。

<漢検について>

● 「漢検」とは

正式名を「日本漢字能力検定」と言い、個々の、漢字の能力を測定する技能検定です。単に漢字の「読む」「書く」という力だけを測るのではなく、漢字を正しく豊かに使いこなす力も測ります。たとえば、部首のなりたち、さまざまな意味の使い分け、筆順、同音語、類義語、対義語、慣用句なども出題されます。漢検は、年3回実施され、10級から1級までの12段階にわかっています。(準2級と準1級を含む) それぞれの意欲や力量に応じて級を上げていき、生涯学習として挑戦し続けられるようになっています。

● 実施の目的

漢検に挑戦することで、「ことばの力」を身につけるとともに、目標を持って学習計画を立て、実行する力を育む。